

.....

うきたむ考古通信

.....

2018年4月号

■発行者	うきたむ考古の会
事務局	山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内
	〒992-0302 山形県東置賜郡高畠町安久津2117
	電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

考古の会役員会報告

4月14日(土)に定例役員会と役員研修が行われました。名誉会長、顧問、会長、幹事、監事、事務局10名の出席がありました。開会、会長挨拶後、座長に佐藤名誉会長がつき、事務局から2017年度事業報告、決算報告、次いで監査報告あり、事業、決算とも満場一致で承認を受けました。協議では①2018年度事業計画案、②2018年度予算案が事務局から提案され、こちらも、満場一致で承認されました。その他では、まだ、決定ではないが企画展以外のパンフや図録を刊行する際、刊行元として考古の会の名義を使わせていただきたいと提案し、これについても承認を受けました。

以上のように、役員会では総会に向けての議案が承認されましたが5月12日(土)に開催される「うきたむ考古の会総会」で、会員の皆様からのご意見もいただき、計画されている事業もさらに充実したものになりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

♥平成30年度の館事業について

2月6日の運営協議会で平成30年度の事業計画が承認されたこと、そしてその概要を前回の通信でお知らせしましたが、同封しました「催し物案内」で日程等をご確認し、各事業に会員の皆様の積極的な参加をお願いいたします。その主な事業を下記に記します。

展示事業

1. 常設展示室

赤ちゃん手形を実施するゴールデンウィーク(4月28日から5月6日)に特別公開「押出遺跡の彩漆土器」を開催します。国保有となっている重要文化財の彩漆土器10個体と4～6次調査で出土した彩漆土器2個体の合計12点を一挙に公開します。短期間の開催ですが、全点を同時に展示する初めての企画ですので、是非ご覧いただきたいと思います。

2. 企画展示

(1) 特別テーマ展「押出遺跡の6次調査と山形県内の縄文前期後半の世界」

6月9日(土)～9月9日(日)

(2) 第26回企画展「木は語る—古代から近世の木簡と木製品—」

9月15日(土)～12月2日(日)

関連企画を実施して理解・関心の向上に努めるとともに、展示図録を刊行します。

- ① ギャラリートーク 9月15日(土)・11月3日(土・祝)
- ② 考古学セミナー 9月30日(日)・10月14日(日)・11月4日(日)
- ③ 記念講演会 11月18日(日)

演題 「出土文字資料と古代出羽国(仮題)」

講師 十川 陽一氏(山形大学人文社会科学部准教授)

普及啓発事業

1. 体験事業

- (1) 「赤ちゃん手形をつくろう」

4月28日(土)～30日(月・祝) および5月3日(木・祝)～6日(日)

※昨年に続き、今年も会員の皆様から、準備と当日のお手伝いのボランティアを募集しますのでよろしくお願いいたします。

- (2) 「勾玉・弓矢・石器をつくろう」

5月19日(土)・7月14日(土)・11月3日(土・祝)

- (3) 「ガラス玉をつくろう」

6月16日(土)・12月1日(土)

- (4) 「からむしで布をつくろう」(あんぎんをつくろう)

6月16日(土)・12月1日(土)

- (5) 「古代風ブレスレットをつくろう」

6月23日(土)・11月3日(土・祝)

- (7) 「スクールオブジョウモン」

8月10日(金)

- (8) 「大人の自由研究」

7月21日(土)・12月15日(土)

2. 遺跡・資料館をめぐる

- (1) 春の遺跡めぐり 5月20日(日) (別添チラシ)

- (2) みる・きく・ふれる遺跡の旅 6月30日(土)～1日(日) 茨城県中南部を予定。
詳細は決定次第お知らせします。

※近年は参加者が減少し、事業継続に赤信号が点滅しています。考古の会との共催事業ですので、多くの方の参加を願っています。

- (3) 秋の遺跡めぐり 10月28日(日) 仙台市を予定(詳細は決定次第お知らせします)

研修事業

1. 考古学への関心の裾野を広げ・深める事業

- (1) 特別テーマ展関連講座(特別テーマ展関連)

『押出遺跡の6次調査と山形県内の縄文前期後半の世界』の開催にちなみ、展示遺跡の発掘担当者や当該期の研究者の方から山形県内の縄文時代前期後半の諸問題についてお話をうかがいます。以下の期日に開講します。開講時間は各日とも13:30～16:00です。

対象：一般50名程度

参加費：全3回1,500円(1回600円)

〈第1回〉 7月8日(日)

「押出遺跡第6次調査の成果」

水戸部秀樹氏((公財)山形県埋蔵文化財センター)

「川内袋遺跡の調査成果」

斉藤 主税氏((公財)山形県埋蔵文化財センター)

〈第2回〉 7月15日(日)

「高瀬山遺跡の調査成果」

斉藤 主税氏((公財)山形県埋蔵文化財センター)

「山形県内の縄文時代前期後半の土器様相」

小林 圭一氏((公財)山形県埋蔵文化財センター)

〈第3回〉 7月22日(日)

「山形県内の縄文時代前期後半の石器製作と組成」 秦 昭繁氏(考古学研究者)

「山形県内の縄文時代前期後半の集落と暮らし」 菅原 哲文氏((公財)山形県埋蔵文化財センター)

(2) 第20期考古学セミナー(企画展関連)

「木と語るー古代から中近世の木簡と木製品ー」

企画展のテーマに沿って、古代から中近世の木簡と木製品について考えます。以下の期日に開講します。開講時間は各日とも13:30~16:00です。

対 象：一般50名程度

参加費：全3回1,500円(1回600円)

〈第1回〉 9月30日(日)

「古代の木製品ー建築部材・祈り・文字ー」

佐藤 庄一氏(山形考古学会会長)

「大在家遺跡の木製品と文字資料」

井田 秀和氏(元高畠町教育委員会)

〈第2回〉 10月14日(日)

「上高田遺跡の木製品と文字資料」

齋藤 健 氏((公財)山形県埋蔵文化財センター)

「中近世の木製品と文字資料」

高桑 登 氏((公財)山形県埋蔵文化財センター)

〈第3回〉 11月4日(日)

「馳上遺跡の木製品と文字資料」

渡辺 和行氏((公財)山形県埋蔵文化財センター)

「古志田東遺跡の木製品と文字資料」

手塚 孝 氏(米沢市教育委員会)

会 告

平成30年度うきたむ考古の会総会

日 時：平成30年5月12日(土) 13時30分から

場 所：考古資料館研修室

講 演：会員の村上弘子氏による「青苧」をテーマとした講演になります

※終了後に歴史公園で青苧の植え付けを行います。

東北情報館



特別展 『直江兼続—兼続と新時代を切り開いた人たち—』

入館料 一般／620円 高校・大学生／400円 小・中学生／250円
4月21日～5月27日 米沢市上杉博物館 TEL: 0238-26-8001



東日本大震災復興祈念特別展

『東大寺と東北—復興を支えた人々の祈り—』

入館料 一般／1500円 シルバー・学生／1300円 小・中・高校生／600円
4月28日～6月24日 東北歴史博物館 TEL: 022-368-0106



旬の常設展 2018 春

『戊辰戦争 150 年特集—幕末の仙台藩の動向—』

入館料 一般・大学生／460円 高校生／230円 小・中学生／110円
3月31日～6月10日 仙台市博物館 TEL: 022-225-3074



第 35 回埋蔵文化財調査資料展

『盛岡を発掘する—平成 29 年度調査速報—』

入館料 一般／200円 小・中学生／100円
2月3日～5月20日 盛岡市遺跡の学び館 TEL: 019-635-6600



平成 30 年度春季企画展『粋な古伊万里—江戸好みのうつわデザイン—』

入館料 一般／720円 高・大生／500円 中学生以下／無料
4月14日～5月27日 新潟県立歴史博物館 TEL: 0258-47-6130



春季企画展『縄文遺物と現代美術—考古学から生まれるアート—』

入館料 無料
4月21日～6月24日 農と縄文の体験実習館なじよもん TEL: 025-